

特  
別  
展

はくおうき  
薄桜鬼 刀剣録

～幕末維新の刀剣展～



© IDEA FACTORY / DESIGN FACTORY

会期

平成29年 10月7日(土)～11月26日(日)

9:00～17:00 最終入場16:30分まで

場所

岩国美術館 開催期間中、休館日無し

入館料

一般 1,000円、高大生 800円、小中学生 300円

主催/公益財団法人岩国美術館、一般社団法人全日本刀匠会事業部

共催/yab山口朝日放送

企画協力/アイデアファクトリー株式会社

企画運営/テレビせとうちクリエイト

後援/岩国市、岩国市教育委員会、一般社団法人岩国市観光協会、中国新聞防長本社、読売新聞西部本社、山口新聞、日刊いわくに、(株)アイキャン

特  
別  
展

# 薄桜鬼 刀剣録

～幕末維新の刀剣展～

約150年前、日本の方向性を大きく変えた明治維新。幕末から維新にかけて大変革ののち、列強に翻弄されながらも日本は世界に認められていきました。その幕末には様々な事件や戦が起き多くの血が流れました。幕末維新は西洋からの銃器が流入する中、日本刀が最後の華を咲かせた時代でもあります。戦乱の予兆に合わせて武士用には振幅の広い刀身に大きな鋒(きっさき)をした刀剣が作られ、活躍する公家や商人用に細身の太刀姿のものが作られました。明日の未来を切り開くため、個々の信念に基づき駆け抜けた維新の志士たち。刀剣は彼らが最も身近に置き、自らの信念を具現化したものです。彼らと関係の深い名刀たちを、『薄桜鬼』に登場する志士たちを通してご覧ください。そして、様々な事件にかかわった刀剣から懸命に生きた武士の「心」を感じていただき、現代にもつながる伝統工芸の「技」の結晶である日本刀を知る、そのきっかけとなることを企図しています。

## ○銘切プレート(協力:全日本刀匠会事業部)

刀匠や金工師が、金属プレートに希望の文字(本人、志士の名前など)を彫ります(字数制限あり)

- ◆開催日時：期間中毎週の土・日・祝日と10月24日(金)
- ◆受付：10:00～16:30(数量限定)
- ◆銘切り料：1枚/500円(銘切りプレート/1,000円)

## ○「薄桜鬼 刀剣録」セレクトショップ

薄桜鬼&戦国武将、幕末に関するグッズが一同に集結!お見逃しなく!

## ■主な展示作品

近藤勇(刀)長曾祢興里入道虎徹、沖田総司(刀)加州住藤原清光、  
源 清麿(刀)正行/天保十二年八月日、吉田松陰筆(卷子)名流尺牘「燕都流言録」  
桂小五郎筆(掛軸)「五箇条 御誓文 第五条」、錦御旗(岡山藩主池田家)

## 【MAP】



## 拡大図



## 【アクセス】

- バス  
・岩国綿帯橋空港から約30分  
・JR新岩国駅から10分  
・JR岩国駅から15分  
※いずれも綿帯橋バス停より徒歩10分
- お車  
・山陽自動車道  
岩国インターチェンジから8分

土方歳三愛刀 越前康継  
佐藤彦五郎新選組資料館蔵

